

令和5年7月号

安全ニュース

7月は「安全・適正就業強化月間」です

1 令和4年度 安全・適正就業標語

最優秀 「声かけて すべて摘み取れ 事故のもと」

飯山地域シルバー人材センター 徳永 保雄 様

優秀 「気を抜くな 慣れた場所こそ 危険個所」

駒ヶ根伊南シルバー人材センター 泉崎 教 様

佳作 「「まんねり」が安全意識 にぶらせる」

上田シルバー人材センター 蓬田 美枝子 様

佳作 「ひとごとと任せず頼らず危険予知」

小諸北佐久シルバー人材センター 堀内 昭男 様

佳作 「危険予知 安全作業の 第一歩」

飯田広域シルバー人材センター 山田 久吉 様

全国統一スローガン

「安全は 無理せず 焦らず 油断せず」

2 シルバー人材センターで取り組む事項

- (1) 安全就業対策の総点検の実施
 - ①就業前、就業後の安全意識等の徹底
 - ②機械器具の点検と整備の徹底
 - ③安全保護具の点検と整備の徹底
 - ④巡回パトロールの重点実施
 - ⑤就業現場の総点検
 - ⑥交通安全対策の徹底
- (2) 安全・適正就業委員会の開催、「安全・適正就業対策基本計画」の策定及び事故の要因分析と具体的な防止策の徹底
- (3) 重篤事故につながる就業の見直し
 - ①危険・有害な作業は受託しない
 - ②作業別安全・適正就業基準に掲げる安全保護具の徹底を図ること
 - ③健康チェックや健康講話等の実施、健康診断の積極的な奨励などの健康増進策を図ること
- (4) 就業途上における交通事故の防止
- (5) 適正就業ガイドラインに沿った業務運営の実施

3 令和5年度「安全・適正就業対策推進の重点目標」

『自分の安全は自分で守る』意識啓発

『安全で健康な毎日があつての就業』

《目標》 危険ゼロ

- ・ 職場や作業に潜む全ての危険を発見・把握・解決
- ・ 事故が起きる前に危険の芽を摘む
- ・ 全員が自主的、自発的に問題解決を実践

1. 安全ミーティングの完全実施

(1) 事前に就業する作業内容等や作業現場のチェックと現場の

下見を行い作業手順の確認、作業に潜む危険の認識、使用

する安全装備の確認を行い「安全確認シート（安全朝礼シー

ト）」を作成しましょう

(2) 就業当日、就業する会員を集め、班長が中心となり、会員にも

発言を促す参加型で、「安全確認シート(安全朝礼シート)」を

活用して、体調確認、作業手順の確認、作業に潜む危険の認識

(KY活動)、安全装備使用の確認、準備体操を実施しましょう

2. 安全装備使用の徹底

(1) 危険に備える安全装備を確実に装着して使用しましょう

(2) 使用する安全装備、道具類は事前の点検と会員相互に確認

するように日頃から習慣付けましょう

3. 健康診断受診及び健康体操の奨励

(1) **健康診断**を必ず受診しましょう

(2) 就業前に**健康体操**を行きましょう

4. 交通事故防止

(1) **交通ルールを遵守**しましょう

(2) 自分の運転能力や身体機能の変化を認識し、**ゆとりを持って**
行動しましょう

(3) 交通安全講習会や実技研修、運転適性検査などを活用して
自分の運転能力をチェックしましょう

(4) 運転に自信がなくなったり、家族から「運転が心配」と言われ
たりした時は、免許の自主返納も考えましょう

5. 安全・適正委員会、推進員による安全対策の 点検と徹底による事故防止体制の確立

事故を起こして気付くのではなく



言われて気づくのではなく



自ら気付く（先取り安全）

家を一步出た時から、帰宅するまで安全に心がけ
一人ひとりが安全の基本を守る心構えが重要
事故を絶対に起こさない、起こさせない組織作り

熱中症を防止しよう！！

熱中症予備軍の隠れ脱水症の見つけ方

・爪を押してセルフチェック・

- ①手の親指の爪を逆の指でつまみます。
- ②つまんだ指を離れた時、白かった爪の色がピンクに戻るのに3秒以上かかれば、脱水症を起こしている可能性があります！！



熱中症を防止しよう！！

熱中症予備軍の隠れ脱水症の見つけ方

尿の色による脱水症状判定チャート

水分量が足りていません	①	いい感じです。 普段通りに水分をとりましょう。
	②	問題はありませんが少し給水してもいいかもしれません。コップ1杯でいいので水分を取りましょう。
	③	1時間以内に約250mlの水分を取りましょう。屋外、あるいは発汗していれば500mlの水分を取りましょう。
	④	今すぐ250mlの水分を取りましょう。屋外、あるいは発汗していれば500mlの水分を取りましょう。
	⑤	今すぐ1000mlの水分を取りましょう。この色より濃い、あるいは赤/茶色が混じっている時は脱水症状以外の問題が考えられます。すぐ病院に行きましょう。

・尿の色を見てセルフチェック

- ① :いい感じです。
- ②～⑤ : 水分を補給して、自分の体の水分量を回復させましょう。
- ⑤より濃い時は、
すぐに報告して下さい。

！高齢者は特に注意が必要です

1 体内の水分が不足しがちです

高齢者は若年者よりも体内の水分量が少ない上、体の老廃物を排出する際にたくさんの尿を必要とします。

2 暑さに対する感覚機能が低下しています

加齢により、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなります。

3 暑さに対する体の調節機能が低下します

高齢者は体に熱がたまりやすく、暑い時には若年者よりも循環器系への負担が大きくなります。

※心臓や腎臓の悪い方や多剤を処方している方は、かかりつけの医師にご相談下さい。

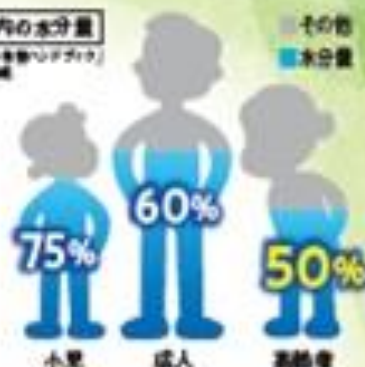
●東京都23区における熱中症死亡者の状況(令和5年)

※約19人(総数)のうち

約8割は65歳以上の高齢者

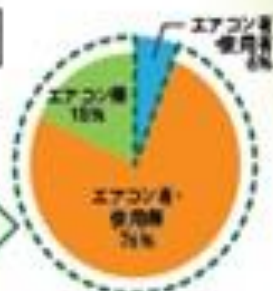
約9割はエアコンを使用していなかった

体内の水分量
【年齢別平均値】
JICA調べ



エアコン設置有無・使用状況

※調査対象は東京都民
■エアコン有・使用有
■エアコン有・使用無
■エアコン無



■ 予防法ができているかをチェックしましょう

エアコン・扇風機を上手に使用している



部屋の温度を測っている



部屋の風通しを良くしている



必要に応じてマスクをはずしている



こまめに水分補給をしている



シャワーやタオルで体を冷やす



暑い時は無理をしない



涼しい服装をしている
外出時には日傘・帽子



涼しい場所・施設を利用する



緊急時・困った時の連絡先を確認している



環境省 熱中症予防情報サイトからの情報もチェック！ → <https://www.wbgt.env.go.jp/>

環境省では、暑さ指数(WBGT)の情報提供も行っております。令和3年度より全国展開している熱中症警戒アラートおよび暑さ指数のメール配信等もご活用ください。

【熱中症警戒アラート】は気象庁から気象庁ウェブサイトでも確認することができます。



熱中症の応急処置

もし、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら……。落ち着いて、状況を確認して対処しましょう。最初の措置が肝心です。

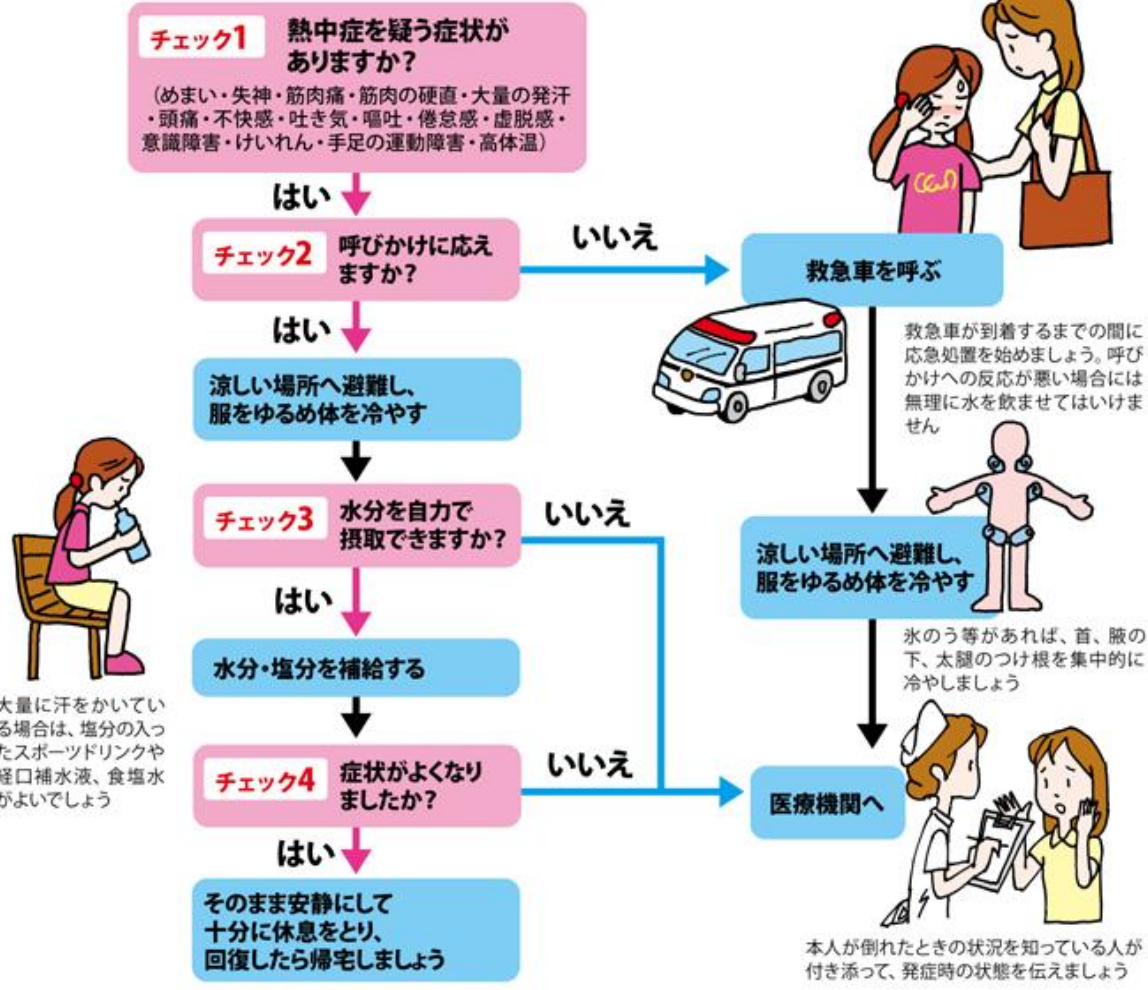


図2-7 熱中症を疑ったときには何をすべきか

優秀賞

令和5年度
安全就業標語

『**気を抜くな 慣れた場所こそ 危険個所**』

(駒ヶ根伊南シルバー人材センター 泉崎 教さん)

公益社団法人 長野県シルバー人材センター連合会

〒380-0841 長野市大門町 51 番地 1 柏与ビル 3 階

Tel : (026)237-4680 Fax : (026)237-5665